

シマンテックのソフトウェア製品が NTTデータのソリューションに組み込まれることを期待

ストレージやサーバ管理のソフトウェア製品の採用に加え、社内のウイルス対策にAntiVirus製品が全面採用されるなど、NTTデータと緊密な関係を構築しているシマンテック。本稿では、NTTデータとシマンテックの関係を紹介するとともに、現在シマンテックがNTTデータ向けに特に注力するAltirisソリューションとデータセンターのグリーン化に向けたソリューション、情報漏洩対策のVONTUを紹介する。

Cluster Server と NetBackup の提供が契機に

2005年6月、ベリタスソフトウェアとシマンテックによるソフトウェア企業同士の大型合併が完了し、現在のシマンテックが誕生した。「当時のベリタスソフトウェアは、ストレージ管理及び可用性のソフトウェアベンダーとして商用UNIXで高可用性を実現する製品を提供していました。NTTデータ様とは、2000年にCluster ServerとNetBackupの2つの製品を中心に取り扱いが始まりました。現在は、アベイラビリティ製品に限らずNTTデータ様の社内のウイルス対応製品としてシマンテック製品を全面採用していただくなど、良好な関係を構築するに至っています。」(山下 道徳部長)

最近、特にNTTデータ向けに積極的な提案活動を展開しているのが、エンドポイントマネージメントのAltirisソリューションと、データセンターのグリーン化に有効なデータセンター管理ソリューション、ならびにコンプライアンス対応とし

て注目され唯一すべてのデータを監視できる情報漏洩対策ソリューションである。

構成管理・IT資産管理を実現する エンドポイントマネージメント —世界的な実績を誇る Altiris—

シマンテックが2007年4月に統合したAltirisソリューションによりエンドポイントにおけるセキュリティの強化、IT資産とサービス管理の向上、サーバ、PCの所有コストを削減する統合ライフサイクル管理を実現する。

日本市場での展開とAltiris製品の概要について、Altirisビジネスユニットの諸橋隆也営業部長は、「Altiris製品は、クライアント管理 (Client Management Suite)、サーバ管理 (Server Management Suite)、資産とサービス管理 (Service & Asset Management Suite) の3つのスイート製品からなり (図1参照)、約2万社で実績があ



(株)シマンテック
エンタープライズパートナー営業統括本部
SIパートナー営業本部
部長 山下 道徳氏

り、フォーチュン500のトップ100社の90%がAltiris製品を導入しています。」と語っている。また製品の特長について、「3つのITライフサイクルを1台の管理コンソールから一元管理する統合ソリューションを提供しています。最小限のコストで最大

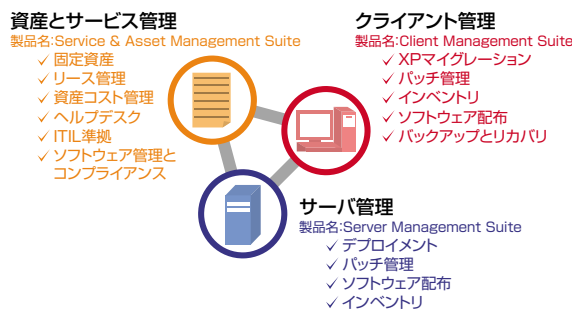


図1 Altirisソリューション3つの概要



(株)シマンテック
Altiris ビジネスユニット
営業部 部長
諸橋 隆也氏

限の効果を発揮できます。」

さらにAltiris製品のアーキテクチャ及び機能について、「Altirisのアーキテクチャは、管理サーバ（Altirisサーバ）に必要なソリューションをインストールし、各ソリューションに対応したAltirisエージェントをAltirisサーバから管理対象にPUSHインストールし、管理する構成となっています。Altirisの全般的な基本機能として、①セキュリティを考慮したWebコンソール、②帯域幅調整機能、チェックポイントリスタート、マルチキャスト対応、③集中管理データベース（CMDB）、④モジュール化されたソリューション統合、⑤通知ポリシーによる管理者へのアラート、⑥マルチプラットフォーム環境に対応、⑦幅広いWebベースのレポート機能（事前定義された多数のレポートフォーム、ウィザードによる容易なカスタマイズ機能）があげられます。」と述べている。

以下では、3つの製品スイートのうち、特に市場で注目を集めている「Client Management Suite」について紹介する。

アプリケーション仮想化を実現する 「Software Virtualization Solution」

Client Management Suite は、簡便で統合的なクライアント管理機能を提供することで、TCOの削減に役立つ統合ITライフサイクル管理ソリューションだ。企業内ネットワークに接続されたクライアントの定期的な管理が行えるように開発されたスイート製品で、クライアントに対して、システム導入、ソフトウェア配布やパッチの管理、オンラインバックアップとリカバリといった保守作業、また資産管理等をWebベースの集中管理コンソールから実行できるのが大きな特長である。

Client Management Suiteの製品一覧を表1に示すが、クライアント管理の機能に応じて、ベーシックなレベル1（青色）からレベル3（黄色）まで、現在12のモジュール（ソリューション）を提供している。これらの中で最近特に注目を集めてい

るのが、アプリケーション仮想化を実現する「Software Virtualization Solution (SVS)」と、リアルタイムな情報収集と監視を実現する「Real-Time System Manager」だ。

SVSは、File System Layeringと呼ばれる特許取得技術を使用し、仮想的にアプリケーションをOS上にインストールさせるとともに、システムのベースライン上の構成とは切り離れた形で実行させることでシステムへの影響を最大限に減らす。OSや他のアプリケーションに影響を与えない上に、エンドユーザーは仮想レイヤー上での動作を意識することなくアプリケーションが実行できるという特長を持つ。また、Real-Time System Managerは、インテルのvPro対応プロセッサ搭載PCに対して、OSや電源が立ち上がっていない状態でも資産管理、障害解決機能を提供する製品。複数のPCに対し、スケジュール機能に基づく電源のオンオフ、エラー発生時のアラート検

表1 Client Management Suiteの製品一覧

Inventory Solution for Clients インベントリ情報	包括的なハード、ソフトの情報収集（インベントリ）、収集されたデータより簡易レポート作成、ウェブからインベントリ収集化
Deployment Solution for Clients システム・ベースイメージの配信	XPマイグレーション、OSイメージ作成、OSイメージ配布、無人インストールの自動化、ソフトウェアとパッチ配布、リモートからクライアントの再起動、シャットダウン操作など
Software Delivery Solution ソフトウェア配布	ネットワーク帯域幅に対応したソフトウェアとパッチ配布機能、ユーザーのセルフサービスによるフル型ソフトウェア配布機能、リモートサイトで配布ポイントの配置
Carbon Copy Solution リモート操作	ウェブブラウザからのリモートアクセス機能、LANやWAN経由のリモートコントロール対応、リモートセッションの追及登録
Application Metering Solution アプリケーション稼働管理	アプリケーションの利用監視、ライセンス管理、不正アプリケーションの利用防止、組織内でアプリケーションが利用されている数とインストールされているライセンス数の比較レポート、アプリケーションのCPU率利用監視
Application Management Solution アプリケーションの状態監視と自動修復	MSIアプリケーションの自動修復、MSIアプリケーションのソースパス管理、MSIアプリケーションに関するインベントリ情報の収集
PC Transplant Solution 環境移行	アプリケーションの個別設定/マイドキュメントの内容/メールアカウントの設定/デスクトップ設定などユーザー毎にカスタマイズされた情報を既存のPCから新しいOSや新規PCへの移行
Patch Management Solution for Clients パッチ管理	脆弱性のスキャン、パッチの管理を自動化
Software Virtualization Solution アプリケーション仮想化	アプリケーションを仮想レイヤー上で実行可能/他のアプリケーションとの競合なし/瞬時にアプリケーションのインストール（アクティブ）アンインストール（非アクティブ）が可能
Real-Time System Manager リアルタイムな情報収集と監視	リアルタイム診断、クライアントのステータスと構成データ、アプリケーション情報をリアルタイムに収集、サービスの起動と停止、プロセス管理、再起動、パスワードリセットなどの管理タスクの実行、vPro機では、IDE-R、SQL、ネットワークフィルタリングが実行可能
Recovery Solution バックアップとリカバリ	オンラインバックアップ機能、スナップショットを利用し以前の状態にロールバックデータリカバリ機能、ユーザー自身でファイルリカバリ可能

出、IDE-R (IDE Redirect)、SOL (Serial Over LAN) 機能を介してリモートでのブートや修復、BIOSの編集が可能、vProマシン上のハードウェア詳細情報やイベントログ情報等を取得できるといった特長を持つ。

ソフトウェアによるグリーンIT基盤へのシマンテックの取組み

地球環境保護に対する問題意識が世界的に高まる中、急上昇し続けるITのエネルギー消費をいかに抑制するかが大きな課題となっている。昨年来、地球に優しいIT、すなわち「グリーンIT」への取組みが加速している。データセンターの電力コスト削減を目指したコンソーシアム「グリーングリッド(Green Grid Association)」、さらには環境問題に取り組む業界団体「Climate Savers Computing Initiative」が活発な活動を展開しているほか、国内でも経済産業省を中心に、産官の連携により、サーバ、ストレージ、ネットワーク分野等における省エネ技術を推進する「グリーンITプロ

ジェクト」など、グリーンITへの取組みが加速拡大してきている。

シマンテックのデータセンターマネージメントグループの朝倉英夫マネージャは、「グリーンIT基盤の実現は世界的な潮流。私どもシマンテックも世界の拠点で温室効果ガス排出量の10%削減を表明しているほか、ソフトウェアによるグリーンIT基盤の実現に注力しています。その具体的な取組みの一つが、シマンテックが提供するデータセンター管理ソリューションです。」と前置きしたうえで、「データセンターの価値は、サービスレベルの向上とコストの削減にあります。」と指摘し、この2つの指標を実現するために、「シマンテックが提供するデータセンター管理ソリューションは、ストレージの統合、アベイラビリティ環境の構築、自動化の3つを実現するソリューションを提供しています(図2)。」と語る。

これらソリューションの中でも、特にシマンテックがグリーンIT基盤の実現ということで注力しているのが、ストレージの統合削減による



(株)シマンテック
ソリューション&プロダクトマーケティング部
データセンターマネージメントグループ
マネージャ 朝倉 英夫氏

効率的な使用、サーバの統合削減による効率的な使用、デスクトップの効率的な使用に有効なソフトウェアの市場展開だ。以下、グリーンIT基盤の実現に有効なシマンテックのソフトウェア製品を列記する。

<ストレージの効率的な使用>

- Veritas Storage Foundation : ストレージの階層化、シンプロビジョニングとの連携
- Veritas CommandCentral Storage : 無駄なストレージ領域を検出
- Veritas NetBackup PureDisk : 重複データの排除によりデータ量を1/50~1/500に削減
- Symantec Enterprise Vault : アーカイブによりオンラインメッセージの50~75%を削減、重複メールを排除したアーカイブの実現

<サーバの効率的な使用>

- Veritas Cluster Server : HAクラスタによるサービスの継続を実現、かつN+1のクラスタ構成によりサーバの台数を削減
- Veritas Cluster Server for VMware : サーバ仮想化環境(VMware、Xen Source) にお

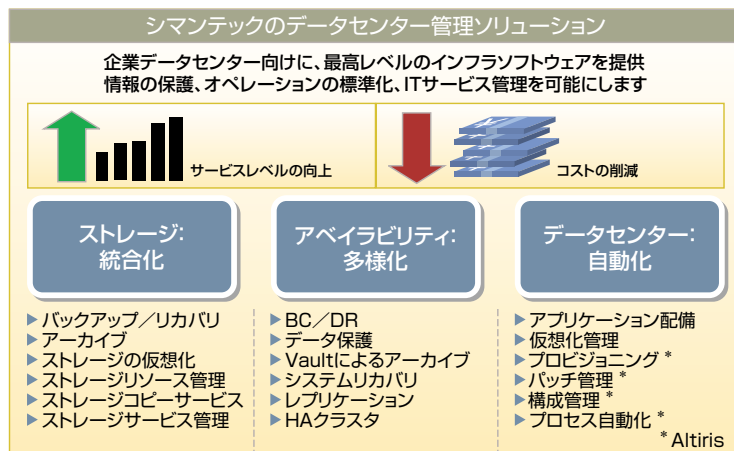


図2 シマンテックのデータセンター管理ソリューション

るより高いレベルのアベイラビリティを提供

<デスクトップの効率的な使用>

・ **Altiris Client Management Suite**：リモートでデスクトップの電源ON/OFFが可能、リモートからソフトウェアの配付やインベントリ収集が可能。電源ON、OFFの管理を自動的に設定し夜間の電力消費の無駄を抑えCO₂削減にも役立っている。

シマンテックでは、「今後、データセンターの自動化に有効なソフトウェアや、物理環境と仮想化環境でのトータルなアベイラビリティ環境を実現する次世代HAクラスタサーバ製品を提供する予定です。」(朝倉マネージャ)としている。

本当の意味でのコンプライアンス・リスク管理が可能に
ネットワーク、ストレージ、エンドポイントを全てカバーできる唯一の**機密情報漏えい対策はこれだ!**

情報漏洩による被害・損失が後を絶たない中、シマンテックが新たに機密情報漏洩防止対策の提供に注力している。シマンテックは昨年11月、ネットワーク、ストレージ、エンドポイントを包括的にカバーする最先端の機密情報漏洩対策を提供してきたVONTU社を買収した。VONTUは、グローバルで30万ユーザー以上、ほとんどのフォーチュン500企業で採用されている実績があり、DLP (Data Loss Prevention: 情報漏洩対策) 市場のリーダー的存在。このソリューションは、企業内の機密データの所在、さらにそ

のファイルの種類と内容まで把握し、統一化された自動化ポリシーに基づき、ストレージ、エンドポイント、ゲートウェイ、ネットワーク内での動きを監視し、情報漏洩のリスクを未然に阻止でき

るのが最大の特長だ。今までの情報漏洩対策と言えば、ファイルへのアクセス管理、暗号化、ユーザー教育等々、経営者/管理者は様々な対策を講じてきたが、VONTUは、機密データの在庫管理、監視、漏洩リスク阻止の総合的管理を実現できる。

機密データの所在、またデータ送信先をすべて把握している企業はまだ数少ない。今や企業は、情報資産そのものを守っていかなければならないとシマンテックは提言する。

※ VONTUに関する詳細は、シマンテックまでお問い合わせください。

Cluster Server と NetBackup の提供が契機に

シマンテックは、自社のソフトウェア製品について、NTTデータ社内での利用に加えNTTデータの社外に向けたソリューションの中に組み込まれることを狙いに積極的な提案活動を展開している。前出の山下部長は、「NTTデータ様は、サーバ仮想化技術にも積極的に取り組まれています、アプリケーション仮想化を実現するSVSにも注目していただけると考えています。また、ITの構成管理や資産

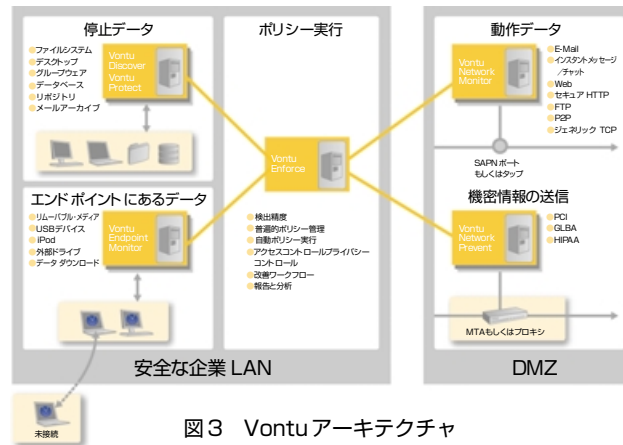


図3 Vontuアーキテクチャ

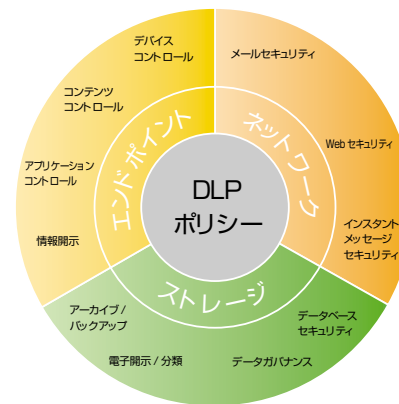


図4 Vontuソリューションの対策範囲

管理の観点から、Client Management Suiteには大変注目していただいております。すでにNTTデータの子会社様を通して、金融機関様への導入も進んでおります。さらに、データセンターの高効率化と省電力化を図る“グリーンデータセンタ”サービスを展開されていることから、私どものデータセンター管理ソリューションが極めて有効的なソリューションであると考えています。」と語っている。

お問い合わせ先

株式会社シマンテック
 SIパートナー営業本部
 TEL：03-5114-4506
 URL：www.symantec.com/jp